

aging is beautiful

B A A 設 立 3 0 周 年 記 念 誌

会長挨拶

30年前に、ビューティフルエージングという概念を提唱され、BAAを立ち上げられた先達の方々の先見性に敬服すると共に、その後の多岐にわたる講演会や研修等のイベントを企画、運営されてこられた方々、そして今も、その心意気を引き継ぎ活躍いただいている方々の日々のご尽力に深く敬意を表します。我々一人ひとりにとって、ライフプラン・キャリアデザインを考え行動していくことが如何に大切かは、人生100年時代と言われるようになって益々脚光を浴びてきています。



BAAはビューティフルエージング社会の実現に向けた取り組み、現役からシニア 会長 隅 修三 までの方々が「生き方、学び方、働き方」を考え実践する機会を提供してまいりました。そのためのお手伝いに賛同いただいた Life Design Advisor の皆さんも累計で 631 名となっております。

この3年間はBAAもコロナという想定外の災禍で、活動もそして会員の維持にも非常に苦しい局面に晒されました。これからも様々な変化に直面するでしょうが、いつの時代にも多くの方々に参加していただける魅力あるBAAであり続けていきたいと思っています。そのためにも活動の内容を充実し、参加者の皆さんに魅力あるイベントを企画、提供し続けていくべく取り組んでまいります。皆様からの引き続きのご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。



設立 30 周年記念講演会の模様

B A A の 歴 史

一般社団法人ビューティフル エージング協会年史

年	役員		出来事
	会長	専務理事	
1992	渡邊文夫	広江 勲	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7月14日、発起人渡邊文夫、渡辺弥栄司他 15 名からなる設立総会が開催された。 ・ 8月5日、通商産業大臣により社団法人として設立が認可され発足した。 ・ 設立目的 中高年者がその経験および能力を生かして有意義な人生をおくる（ビューティフルエージングという）に関する調査・研究、指導および相談、情報の収集および提供等を主として企業の立場から行い、わが国福祉の向上を通して、豊かな国民生活の実現と経済の発展に寄与することを目的とする。 ・ 事業の概要 <ul style="list-style-type: none"> ①人生設計や生涯学習の充実、人生設計アドバイザーの養成 ②企業の人事労務部門の参考になるセミナーや講演会の開催 ③人材、仕事、ボランティア等の情報の蓄積と提供 ④健康・財産・余暇などの中高年支援サービスの提供 ⑤企業退職者も含めた活動の場の創出と支援 ⑥中高年に役立つ情報ガイドブック、機関誌の発行 ⑦委員会活動の実施（人材、生涯学習、事業企画、OB） ・ 広報紙「BAA NEWS」季刊発行開始
1994			<ul style="list-style-type: none"> ・ ビューティフルエージング社会実現を担う人材養成のため、第1回人生設計アドバイザー養成講座（現ライフデザイン・アドバイザー養成講座）が開催される。
1996			<ul style="list-style-type: none"> ・ 「生涯学習」「生きがい」「人材」委員会を設置。
1998	渡辺弥栄司	澤田富雄	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「生涯学習」「人材」「事業企画」「OB」委員会を設置。
1999			<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月、人生設計アドバイザー資格取得者有志により結成された、人生設計アドバイザーの会がスタートし、自主的な継続教育、経験交流を開始した。初代会長 杉山幸男 事務局長 大野耕一

2000			<ul style="list-style-type: none"> ・ BA 情報原（中高齢者のためのいきいき生活情報入門書）を発行。
2002		中井幸二	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月、ライフエコノミープラン講師、確定拠出年金投資教育指導者養成のため、講座を開講した。
2004			
2006			
2008			<ul style="list-style-type: none"> ・ 政府の行政改革により、公益事業の見直しを開始される。一般社団法人への円滑な移行準備を開始する。
2010	田村滋美		
2011	会長代行 金井 務		<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災および福島第1原子力発電所事故により、わが国の経済社会に甚大な被害がでた。BAAの活動にも、会員の退会が増加するなど大きな影響が生じた。
2012			
2013	澤田富雄	愛須敬太郎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月21日、内閣府認可による一般社団法人として移行認可された。 ・ BAAは、不特定多数の者の利益の増進に寄与する事業を行うことを目的とすることを明確化。例えば、高齢者福祉増進を目的とする事業、地域社会の健全な発展を目的とする事業、国民生活の安定を図るための事業、経産省が公益事業として認定したもの（継続事業）は、一般社団法人に移行させる。 ・ 正味財産は公益目的財産と見なされ、公益目的に支出することを義務付けられる。 ・ 公益目的財産額を公益目的に費消する実施計画を策定する。 ・ LDA養成実践事業、BAA実現事業は公益事業とし、公益目的財産を充当することが可能。 ・ 個人会員制度を設け、国民が広く活動に参加できるよう定款を変更した。 ・ 個人会員加入の取組みを開始した。
2014	山口輝雄	浦田健一郎	

2016			<ul style="list-style-type: none"> ・ BAA 活動の強化を図るため、BAA とライフデザイン・アドバイザーの会（LDA の会）の一体運営を実現した。LDA の会会員は BAA 個人会員となり、セミナー開催、講師派遣、勉強会、イベント開催、社会貢献活動も一体で実施する。 ・ 広報紙「BAA ニュース」を Web による毎月配信に変更した。
2018			
2019			
2020	浦田健一郎	埴 猛	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染拡大により、対面による活動が制約され、セミナーや交流企画が中止となった。イベントへの参加者が激減し、財政も大幅に悪化した。 ・ 内閣府が募集した「エイジレスライフ社会参加事例」に応募し、BAA が支援している活動が社会参加事例として認定を受けた。BAA が NPO 法人三鷹ネットワーク大学推進機構に提供してきた寄付講座（人生 100 年時代を考える）に参加した受講生と講師が自主的に集まり、地域で社会貢献活動を行ってきたことが評価された。
2022	隅 修三		<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍を克服するため、積極的にオンラインを活用した活動を取り入れた。 ・ 法人会員：24 社・団体、個人会員 321 名（2022 年 4 月現在） ・ 創立 30 周年記念事業として、11 月 12 日、記念講演会を開催（講師：澤岡詩野、演題：わたしらしく生きるために、今できること）。記念誌を 2023 年 3 月に発行した。 ・ 2013 年一般社団法人移行にともない、公益法人時代の繰越金を一般社団法人に移行する認可を受けた。2022 年度末に繰越金の費消を終了したので、終了計画報告を内閣府に提出した。

BAA に対する思い出・望むもの（寄稿文）

「Aging is Beautiful の思想が広がることを願って」

元専務理事 中井 幸二

BAA が設立された頃は、まだバブル景気の最中で、提案者の渡辺弥栄氏が通産省の元高級官僚であったことから、発起人や理事に著名な「財界人」が名を連ねていて、会員も優に 100 社を超えてい

ました。私が着任した2000年は、既にバブルは弾けて景気は最悪、経費削減に加え、企業合併などで、会員数も3分の1以下となっていました。また、後援者が「財界」ではなく、「財界人」だった為に、その方のリタイアが、退会の口実になったのも痛手でした。着任後、全ての会員企業を訪問したのですが、殆どが退会の意向で、前途多難なスタートとなりました。先ず、事務所の移転と人員削減によるコストダウン、そして何より重要だったのが会員の慰留でした。そのため、会員企業の人事担当とOB会事務局の皆さんの情報交換と勉強の場である人材委員会とOB委員会の充実に力を入れました。厳しい船出でしたが、アドの会をはじめ、各委員会のメンバーや事務局の同僚の暖かい応援が嬉しく、また皆様との日々のお付き合いが楽しくて、気が付けば、8年間もお世話になっていました。人材委員会では、障害者雇用の勉強に大分の「太陽の家」を訪問したり、外国人雇用の勉強に北京のパナソニック、資生堂を訪問したり、私も会員だったカラオケ同好会のメンバーや事務局の仲間たちと、会場だった「銀座ポポーラ」のママの故郷、佐渡へ旅行したことなど、忘れられない思い出もあります。



私の時代の会長は、BAAの創設者である渡辺弥栄司氏でした。86歳の時に「125歳まで、私は生きる」という著書を出版されています。「人間は生きている限り成長する。だから歳を重ねることは素晴らしい、美しい」と言う考え方の持ち主で、ビューティフルエイジング協会設立の動機になっており、協会の理念にもなっております。残念ながら92歳で亡くなりましたが、人生100歳時代に入り、Aging is Beautifulの思想が広まりますようお願いしております。

「7年間・2008～2014年を振り返って」

元専務理事 愛須 敬太郎

2～3年ということで、専務理事を引き受けましたが、渡辺弥栄司会長の突然の退場から始まり次から次へと問題が発生、足かけ7年半となってしまいました。思い通りにはいかないのが世の習いということでしょうか。でも、経験したことのない面白さが多々ありました。



初めて渡辺弥栄司会長を訪れた折、事務所内で健康体操「真向法」・「股割り」を実演され、大変驚き度肝を抜かれました。弥栄司さんは、100歳まで生きることをモットーに、老後の「暗い」イメージを「明るい」イメージにと強調され、これが「ビューティフルエイジング」の基本精神なのだなど、とても感銘を受けました。2009年弥栄司会長が突然辞任、「後は君に任せる」一言だけ。何のご指示もなく、ただただ困惑するばかり。そこで先ず、「BAA」初代会長の渡邊文夫さん(東京海上火災保険会長、弥栄司さんとは日本海軍で同期だったそうです)を訪ね・ご報告、何人かの理事のご意見をお聞きすることにしました。

当時、理事は 25 人程いました(大企業の社長・会長・相談役)が、女性の理事は一人もおりませんでした。ビューティフルエージングを標榜する「BAA」に女性の理事がいないとは、これはおかしいなど。法政大学の教授室に宮城まり子先生をお訪ねし、「ビューティフルエージング」(より多くの方々に、より美しく・より豊かに・より輝ける人生を送っていただくこと)を世の中に大いに広め・実現していくため是非お力をお貸しいただきたいと、お願い致しました。

当時は不況下、また弥栄司さんのカリスマ性が少しずつ剥がれてきたこと、会員企業も責任者が代々変わって「BAA」への関心が非常に薄くなってしまったことなどが大きく影響し、会員企業の退会が激増(専務理事引き受け時・60社→30社)、これが大きな悩みでした。「トヨタ」から退会の申し出があり、人事担当部長に会長豊田彰一郎さんは「BAA」発起人のお一人であったので是非伺ってほしい、とお願いしましたが、結局「カイゼン」運動のためから無理でした。また「三菱商事」からも退会の申し出があり、早速担当常務をお訪ねし、今まで通り企業の社会的責任としてのご協力を是非にとお願いしました際「不景気で全業務見直しの最中で」とのことでした。結果として会員としての退会ではなく、会費を半減とすることでご了解いただき、大変ありがたいことでした。非常に多くの企業が退会となり、誠に残念なこと、とても苦しい時期でした。

2006年(平成18年)公益法人制度が抜本的に改められた。これへの対応がひと苦勞でした。従来「BAA」は、経済産業省の許可・監督のもと設立されたわけですが、今回の移行認可時は独立した委員会(内閣府)の関与のもとで認可が行われるものでした。そこで先ず、経済産業省のご理解を得て、内閣府認定委員会申請への後押しをしてもらうべく、経産省商務情報政策局に担当官を訪ねた。「BAA」の趣旨・目指すところを説明しましたが、なかなか納得してもらえず「ビューティフルエージング・美しく生きるってどんなこと?」。連日の如く説明に伺った結果、何とか分かってもらえた様子でしたので、次いで内閣府認定委員会へ申請することになった。行政ではカバーできない社会的ニーズに幅広く対応できるように、民間の担う役割を大いに活用したいとして、「多数の人々に」情報発信・メニュー提供できるのであれば、その行いうる事業に格別の制限はないとのこと。例えば、会員の会費で事業を展開するにしても、会員だけに事業メニューを発信・提供するのでは趣旨にそぐわないですよ、ということでした。

「ビューティフルエージング」の精神・目指すところは非常に素晴らしい。素晴らしいからこそ、弥栄司さんのお考えを尊重しながらも、新たに広く社会に一層アピールする方途を打ち出さねばと思います。「養成講座」の修了者を中心とした狭い「BAA」の発信・事業提供ではなく、もっともっと広く社会にアピールしていく事業展開、それが「一般社団法人」としての「BAA」のあるべき姿ではないでしょうか。

そんなこんなの中、「BAA」関係者の方々にご指導を受け、お世話になり、心から感謝・御礼を申し上げます。

「流れる川は朽ちず」

元会長 山口 輝雄

BAA 設立 30 周年、お目出とうございます。

私は 11 期生としてアドの会会員となり、後にアドの会代表、そして BAA の会長を仰せつかったことも

あり、BAA とは永いお付き合いとなりました。楽しい思い出がいっぱいです。

会員同士が楽しみ、切磋琢磨する会、「生きがい分科会」「余暇研究会」、最近では「カラオケ同好会」「投資研究会」「音楽グループの会」等々に所属し、楽しい仲間がいっぱい出来ました。ありがとうございました。

三鷹ネットワーク大学で「和菓子作りの魅力」と題しての講演させていただいたのも良い思い出です。



写真 1

私のビューティフルエージングの本舞台はローイングボートです。世界マスターズレガッタに過去 18 回参戦し、世界に同世代のボート仲間がいっぱい出来ました。

そのほか、料理教室 11 年、造園士資格獲得、ベートーベン第九合唱団所属、夫婦でスペイン長期滞在、ゴルフ、スキー…等々、よくぞいろいろと挑戦したものです。

BAA の会長を務めていたころ、BAA の仲間を 3～4 組を我が家にお招きしイタリア料理をご馳走したことがあります。「どうです、美味しいでしょう？」との質問に「美味しいです」との返事。とんだ押し売りでしたが、当方、有頂天！ 次々とお招きすることとなった次第です。

写真は BAA の役員の皆さんをお招きした時の懐かしい一葉です。

「流れる川は朽ちず」という言葉がありますが、これからも止まることなく新たな挑戦をし続け大海に流れこもうかと思っています。

「超高齢社会」「人生 100 年時代」を迎えている日本。欧米の先進諸国はその日本のビューティフルエージングの行方に注目しています。それこそ、ここは BAA の出番です。



写真 2

BAA 益々のご活躍を祈念しています。

写真 1 は 山口輝雄 84 歳の卯年を迎え、正月に「うさぎ薯蕷饅頭」を作ってみました。

写真 2 は 2016/6/18 宮城先生、池田顧問、浦田さん、横山さん、本田さん、奥村さん。BAA 幹部の皆さんと我が家でイタリアン。

「先駆者としての BAA の存在とその役割」

キャリア心理学研究所 代表
臨床心理士 宮城 まり子

私はかつて大変長きにわたり BAA における副会長、セミナー講師、シンポジウムのシンポジスト、個別のカウンセリング研修（國分康孝先生の後任）など、BAA において、いろいろな役割を務めさせていただきました。私自身にとって、BAA での活動は大きな気づき・学びや成長の機会となり、多様な方々との出逢いもあり、懐かしく楽しい貴重な思い出を沢山いただくことができました。BAA には大変感謝の気持ちでいっぱいです。

今でこそマスコミが多く取り上げ話題になっていますが、長寿化社会において「Beautiful Aging (BA) 美しく年齢を重ねる」ことの重要性に BAA はずっと前から気づかれ高齢社会でのテーマを牽引するパイ

オニアの存在であったと思います。「人生 100 年時代」をいかに豊かに前向きに、加えて「美しく生きるか」に関するシンポジウム、講座やセミナーを早くからスタートされたことは、BAA が高齢化社会の到来に対する先見の明を、初期の頃からお持ちであったことが分かり大変敬服いたします。

私は BAA に長く深く携わらせていただき楽しい思い出が沢山ありますが、中でも一番の思い出は当時の会長山口輝雄さんのご自宅に 6 人ほどでお邪魔し、会長の手料理による見事なお料理をいただいた思い出です。スープから始まりデザートまで、本格的な洋食のフルコースでメニュー、味つけなどプロ並みの素晴らしい腕前とおもてなしに心から感心し、その時「会長こそまさに美しく年齢を重ねながら生きるモデルだ！これぞ BAA!」と大変感動いたしました。今もその時の楽しい思い出は鮮明に脳裡に焼き付いています。

少子高齢化の現代社会、BAA が提唱されるように「Beautiful Aging」をいかに一人ひとりが実現するか、大切なのは単なる個人要因だけではなく、それを支援し支える社会インフラ（仕組み）として、我々は相互に何をするかなど課題は山積しています。先駆者としての BAA は、今後とも当分野を牽引するリーダーとして、益々大切な役割を果たして活動していただきたいと願いいつも熱く応援しております。

「メンタルヘルスについて」

(独法) 労働者健康安全機構 横浜労災病院
勤労者メンタルヘルスセンター長 山本 晴義

BAA 設立 30 周年おめでとうございます。

先日、病院から永年勤続表彰（30 年）を受けました。BAA の歩みは、私の横浜労災病院での歴史でもあります。労災病院の母体は、(独法) 労働者健康安全機構で、働く人の健康を守る国の組織です。「24 時間戦えますか!」の企業戦士溢れる昭和の時代から、100 歳まで元気で人間らしい暮らしをしていただくための令和の「働き方改革」を推し進めており、BAA の趣旨とも一致しています。

BAA では、「働く人のメンタルヘルス」の講義を担当してきました。失われた 30 年といわれる平成の時代に、職場のメンタルヘルスが叫ばれた背景には、①働く人の多くが仕事関係で悩んでいるという現実、②業務関連の心理的負荷が原因で発症した精神疾患（自殺も含む）が労災補償の対象となったこと、③自殺者急増（1998 年から 14 年連続 3 万人超）に対する国家戦略への寄与、④メンタルヘルスと生産性の相互関係、⑤ストレスチェック制度の義務化による職場のメンタルヘルス体制づくり、⑥治療と仕事の両立支援、仕事と家庭の両立支援のための体制づくり、⑦少子高齢化の中での勤労高齢者の心身の健康問題などがあります。

国は「メンタルヘルス指針」を示し、4 つのケアと 3 つの予防活動を謳っています。4 つのケアとは、「セルフケア」「ラインによるケア」「事業場内産業保健スタッフ等によるケア」「事業場外資源によるケア」です。一次予防とは、メンタル不調を未然に予防することであり、ストレスの自己管理である「セルフケア」と管理監督者による部下への支援や環境整備などの「ラインケア」が柱です。二次予防とは、早期発見・対応で重症化を防ぐことであり、三次予防とは、職場復帰支援を通して再発の予防をすることです。



上記を踏まえ、私は勤労者医療の立場から、これからも BAA の活動を応援したいと考えています。一緒に楽しみながら頑張りましょう。

「BAA 設立 30 周年に寄せて」

石井@教育研究所 所長
個人会員 石井 サト子

BAA 設立 30 周年おめでとうございます。

私が B A A 関西支部の皆さまと最初にご縁を頂いたのは、2014 年 6 月「支部主催の勉強会」に講師としてお声をかけて頂いたことから。長年、ホテルや百貨店で働き、仕事のキャリアはあるものの、自らの人生の「キャリアデザイン」については考えたこともない状況からのスタートでした。そこから大阪で開催される勉強会に参加させて頂き、当時はあたりまえのように懇親会へと流れていたのを、今懐かしく思い出しています。



ところが人生はいつ何が起こるかわからないもので、実家の岡山で「老々介護」で気丈に母を看てくれていた父に末期の癌が見つかり、私は考える間もなく、長年住み慣れた大阪を離れ、故郷に帰ることになりました。しばらくは両親のダブルケアをしながら、ホテルのマネージャーとして仕事と介護の日々を続けていましたが、次第に心が離職へと傾いてしまいました。もちろん会社は時短や在宅勤務で働き続けられる環境を作ってくれていたにも関わらず、です。あれから 7 年がたち、冷静に当時の自分をみたとき「頑張りすぎて糸が切れてしまったのかな」とも思います。

その後、当時の上司とも相談して退職し、グループ会社の研修講師として再スタートすることになりました。もちろん身分は個人事業主です。それから山あり谷ありの毎日ですが、やがて母を送り、末期癌と診断された父は奇跡的にも治療の甲斐あって今も健在です。

自粛生活を強いられたコロナ禍、色々なことが中止になるなかで、B A A のオンライン講座がいち早く「外につながる窓」を開いてくれました。使い慣れない Z O O M の操作方法やどんどん魅力的な講座を開催して下さり、コロナ禍の大きな楽しみとなりました。これも事務局の皆さまや講師を務められた先生方のご尽力があったからと心より感謝しております。本当にありがとうございました。次の周年に向けて更なるご盛會を祈念しております。

「楽しいクラブ活動」

LDA9 期 元 LDA の会代表 楠本 渉

私の BAA との関わりは 1999 年「人生設計アドバイザー資格認定証」を頂いた時から始まりました。それまでの商社マン生活からセカンドキャリアの人材ビジネス分野の活動に軸足を移した頃です。当時アドの会と称していた LDA の会は異業種の一流人材の集まりで、楽しく交流しながら多くのことを勉強できたのです。世話人会から推されて会長を務めたこともあります。分科会では「スポーツ振興



会」「ヒューマンスキル研究会」「余暇研究会」メンバーとして、学生時代に劣らない有意義なクラブ活動をエンジョイしています。スポーツ振興会では岩見一郎氏が発起人となり、ゴルフコンペを催して2020年までに40回も実施しました。13回目のコンペから私の家内も参加を許されて楽しい交流をさせていただいたものです。「ヒューマンスキル研究会」では横山出氏が中心となり、真面目にかなり専門分野の勉強会を楽しんでいます。残念ながらコロナのせいで現状はお休み中。「余暇研究会」は小林和雄氏が代表幹事として大活躍され、食文化研究、見学会など文字通り有意義に余暇を過ごす活動に精を出しました。私がメンバーのプライベートクラブでカラオケ大会をやったこともあり、一度は山口輝雄氏宅の「リストランテヤマグーチ」でおいしいイタリアンをごちそうになったものです。その他BAAでは「真向法」という健康体操を教えてもらい、今も自宅で実行しているおかげで病気とは縁がない毎日です。また「4水会」では皆さんから楽しいイベントを提供してもらって楽しんでおり、まさにLDAのクラブ活動、分科会「ブラボー、ブラビッシモ」というところでもあります。

「BAA30周年記念誌に寄せて」

LDA19期KFSC代表理事 堀江 雄二

BAA設立30周年記念、おめでとうございます。これも代表をはじめとする歴代役員の皆さん、事務局の皆さん、それに会員の皆さんのご尽力の賜物と思います。今後もビューティフルエージングの実現に向けて、諸々の活動に邁進されるよう、お祈り致します。

さて、私は平成19年にリクルートを早期退職後、既にライフデザイン・アドバイザー(LDA)の有資格者だった会社の先輩の後関さん、同僚の奥村さんの縁もあって、19期のLDA研修を受講し、資格を頂きました。その際受講直後の感想として、以下のような文章を寄稿致しました。



「私はサラリーマン時代に取得したFP(ファイナンシャル・プランナー)資格を生かすべく、50代後半に早期退職し次のステップを準備していたところ、BAAのライフデザイン・アドバイザー研修の存在を知りました。研修プログラムはFP分野と重なる部分が多く、更に周辺分野も含んだ内容だったので、自分の考えを整理・再構築するにはうってつけと思い受講しました。

結果は狙い通りで、研修を通じて自分の進むべき方向が確認でき、これを契機に独立系FPとしてスタートを切る事が出来ました。その上、研修で一緒だった仲間や他の受講生OBとの異業種交流は、今でも貴重な財産になっています。」

上記のように、その後19期同期メンバーとは同期会を結成し、コロナ禍等で中断もありましたが、昨年は久しぶりにZoomで会合を開き、旧交を温めています。因みに同期会は「飛鳥の会」と命名していますが、これは研修講師のお一人だった著名株式評論家の木村佳子さんが、研修中の話題で「企業をリタイアすると、クルーズ船・飛鳥号で旅行する方が多い」と言われたことに由来しています。余談ですが、飛鳥号を利用することはないだろうと思っていましたが、昨年12月に加山雄三さんのラストコンサートツ

アーが同船で開催され、夫婦で同ツアーに参加して、「飛鳥の会メンバー」の面目を保つことになりました。

また、同期メンバーで BAA 総務部長の大庭さんには、平成 23 年に仲間の FP と立ち上げた「(一社) かながわ FP 生活相談センター (略称: KFSC)」に参加して貰い、KFSC 事務局長の要職を引受けて頂いています。そのお陰で KFSC と BAA さんとは相互に会員にならせて貰い、お互いのイベントで交流させて頂いています。

このように、LDA 研修に参加したことで人脈が広がり、FP として活動する為の大きな契機になった事は、大変感謝致しております。今後も BAA が発展され、リタイア後の職業人やセカンドライフを充実させたいと願う人々にとって、人生の羅針盤となることを切にお祈り致します。

「BAA の貴重な出会いと思い出」

LDA26 期 山田 和美

ご縁で、ビューティフルエイジング協会 (BAA) のメンバーとなり、これまで知りえなかったご経験豊富な皆様と交流でき、貴重な体験を重ねています。

- 1) 元会長からイタリアンフルコースの食事会にお招きいただき、ご定年後何年もかかってクッキングをマスターされたとのこと、手作りの和菓子も楽しませていただき、真に、人に喜びを与え、ご自身もビューティフルエイジングを愉しまれているお姿に感銘です。
- 2) 2016 年レディス会を、九鬼真弓さん、山田ゆう子さん、と共に発起人となり、立ち上げ、現在はコロナで休止していますが、様々な活動を愉しんでいます。

発足の意義は、これまで企業ご出身男性の皆様のご加護に頼ってきましたが、その活動に加えて、《女性がお互いを知り、共に学び、親交を深め、当協会が益々発展していくよう、願って活動していく》趣旨のもと、皆様のご賛同を得てスタート。

①2016 年 11 月 第 1 回: 新江戸川公園松聲閣にて、吟行と秋のお茶会

一茶ゆかりの回遊式庭園で一句、その後は松聲閣の茶室にて、和装の山田ゆう子さん、九鬼さんによる本格的なお点前。思い出深い素晴らしい記念の会となりました。

②東京ドーム・世界らん展にて BAA として出展。3.6×3.6 の小さなスペースながら、和をイメージした【吟行と蘭の宴】翌年は【蘭舞】作品はいずれもトロフィー賞・大好評。

③2017 年以降は、横浜、鎌倉、奥多摩へとハイキングと日枝神社参拝。美食を愉しみ、活動。レディス会幹事の九鬼真弓さんの世界一周クルージングの報告会は、素晴らしい写真とお話に、参加者からは、九鬼さんの行動に、感激と賞賛のお声を頂きました。



コロナの影響で、オンラインの会議のみで、リアルの活動はやむなく休止していましたが、2023 年新しい希望をもって再活動始めます。レディス会ですが、もちろん男性諸氏のご参加も大歓迎です。どうぞ、ビューティフルエイジングを共に愉みましょう。

BAAの更なる発展のために（座談会）

座長：木村 勝（BAA LDAの会代表）

参加者：米本 昌史（LDA24期）、本岩 美香（LDA31期）、荒武 誠（LDA31期）

山田 清美（LDA33期）

3月6日（月）19:00～21:00 WEB会議

木村）先ほど皆さんから自己紹介をして頂きました。この中で私と米本さんが企業から、ほかの3の方が個人



人でライフデザイン・アドバイザー（略称LDA）養成講座を受講して、BAA・ライフデザイン・アドバイザーの会（略称LDAの会）に入会され、個人会員としてBAA活動を担っていただいています。

今日は主にLDA会員の立場から、テーマに沿ってお話を進めたいと思います。まず私ですが9年前に勤めていた会社を退職しました。会社を

辞めると居場所やよりどころがなくなりますが、BAAに入り三鷹ネットワーク大学の講師として、またいろいろなセミナーに参加し、多くの人と接触する機会ができたことで、寂しさを紛らわすことができました。普通の会社に勤めていたら出会えない人と会えるようにもなりました。皆さんはいかがでしょう？

米本）私は関西在住なのでBAAに入ってもどうなるものかと思っていました。その当時はLDAの行事は史跡見学、懇親会など平日の開催が多く、現役の私は参加しづらく土日の開催を希望していました。そうした中、同じキャリアコンサルタントであった故松村氏と相談し、当時BAA副会長であった宮城まり子先生に大阪まで来て頂き、キャリアコンサルタントを中心に講演会を開催したところ、個人会員が増えました。そこで私は個人会員になった人たちにどのような企画を提供すれば喜んでもらえるか考え、セミナーの開催や講師としてキャリアコンサルタントに近いセミナーを実施してきたことが良かったと思っています。現在はコロナ禍で中断しています。

山田）木村さんのお話にあったように私も普通に生活をしていたら出会うことのなかった人に多くお会いできました。自分の生活の中では相談する相手がわからない相続に関する知識を得ることができました。まだ入会して1年ですが多くのイベントに参加しました。中でも街歩きの会では文化、歴史といろいろな分野にそれぞれ興味のある方がいることが分かったので、企画する方とそんなお話ができればと思います。楽しみがとても多いと感じています。

本岩）LDA オンライン分科会を立ち上げました。自分の勤務が変わり、なかなか時間が取れなかったのです



がZOOMの始め方、グーグルフォームの始め方の説明会をオンラインで実施しました。福岡在住なので街歩きの会などにも参加したいのですが難しい。しかしオンラインであればいろいろ企画もできる。そこから進めていきたいと思っています。

荒武）2019年に入会したときに一度リアルの同期飲み会を実施しました。

2020年以降はコロナ禍に入り、すべてリモートになりました。本岩さんの言われた通り、これからはオンラインの時代だと思います。三鷹ネットワーク大学の講師として参加しており、最初は20名程度の座学でしたが、コロナ以降はオンラインでの講座です。オンラインだと東京だけではなく、今までで

すと難しい地方からも参加できるようになりました。まさにネット時代なので開催場所以外からも参加できますが、一方で対面でなければ開催が難しい内容があるのも事実です。私の実施している資産運用の講座はオンラインのみでも良いのですが、講座の内容によっては ZOOM と会場のハイブリッド的な開催が良いケースもあります。BAA 活動の今後の一つの方向性ではないでしょうか。

木村) たしかに、コロナ禍による怪我の功名で、ZOOM 等により場所の偏りが無くなりました。この進め方は参加者を増やすため堅持したいですね。

山田) しかし荒武さんの言われる通り対面でないと難しいものもあり、私が講師をした太極拳などはリモートで行うのは困難でした。ハイブリッドだとなんとかなるかもしれませんが・・

木村) ケースバイケースですね。

木村) 個人的には LDA 分科会・研究会などに参加することにより、苦手だった人前で話すことが容易になったし、書くことの場も与えられ、勉強になりました。参加しやすい LDA 四水会から、シニアセミナー、企業や社会教育講師へステップアップすることもできます。こうしたところが BAA の良いところだと思います。そのほか BAA は商売商売していないところがよい (笑)。営利目的ではないことを活かしたらよいと思います。

米本) 遠隔地からみる BAA のスタンスは近場だけのビューティフルエージングにとどまっているように見えます。このままでは全国展開は難しい。個人でライフデザイン・アドバイザーの資格をとったら職場に戻り積極的に生かせるような、BAA としてのマニュアル作りと支援体制が必要だと思います。

木村) 一つのアイデアとして、BAA ホームページでアドバイザーとしての特色を強調したらどうでしょうか。アドバイザーのデータベース (個人情報なので可能な範囲で) をオープンにすることで。

本岩) LDA のデータベースに名前までは載せなくても特色を載せるだけで効果があると思います。現在、三鷹ネットワーク大学講座やシニアセミナーなどの講師は LDA の会の分科会で、自薦・他薦で募っていますが会員には十分に周知されているとは思えません。講師の育成の場としてとらえて、積極的にもっと会員に周知して多くの会員から手を挙げてもらってはどうか？

キャリアコンサルタントの人が LDA 資格を取った場合は、学びの場として考えたらよいと思います。

木村) 講師の教育の場として BAA を使うとよいという事ですね。

米本) 個人会員のキャリアコンサルタントが多い中では、現役世代には高年齢世代は年金生活で自分たちとは



違う (恵まれている) という感覚があります。若手がどのようにビューティフルエージングを楽しめるかメリハリをつけてやってみたい。LDA がキャリアコンサルタントに取って代わられています。LDA の良さをもっと社会に知ってもらいそうですね。そのため、知り合い同士で集まっているのではなく、人生 100 年時代のパラレルキャリアなど

を若手に発信していきたいと思います。

木村) 年配の懇親会 (笑) だけではなく、若手への展開のプログラム作りも肝要ですね。

本岩) 平日のイベント、4 水会などには現役は参加しづらいです。

木村) 米本さんの言われた、取って代われつつあるキャリアコンサルタントに対する LDA の魅力は何でしょうか? 国家資格でもありませんし。

米本) ライフデザインをアドバイスするために企業に戻った LDA が活躍することではないでしょうか。キャリアコンサルタントの視線ではなく、ライフデザインの視点として特化したテーマを若手に説明しても

raitai。

本岩) 私もキャリアコンサルタント資格取得後に LDA 資格を取得しましたが、お金の事、メンタルヘルスなど幅が広がりました。もちろん人脈も (笑)

木村) キャリアだけでなく、例えばファイナンシャル・プランナー資格を持った LDA もおられますので、そこからの広がりが期待できることも BAA の魅力のひとつですね。

荒武) 私は三鷹ネットワークの講座や LDA の会の投資研究会を担当していますが、人生 100 年時代とな



り、お金の問題が身近になっています。NISA も話題になっていますが皆さんに内容が十分に理解されているか疑問を持っています。新しい NISA は幅広くなっており、若い人からシニア世代までこれをどうマネープランに活かしていくかが大きな課題です。これを体系立てて個人で勉強するのはハードルが高いと思います。私は B A A として中立的立場にたっ

てこれを紹介するのがメリットだと考えています。これからは B A A の会員、および家族、若手そして企業への説明を展開していければと思います。

山田) 私はキャリアコンサルタントの資格を持っていませんが、個人会員として入会後に LDA になりました。



そのなかで大切だと思うことは心と体の健康です。体については太極拳の講師を担当しました。心のケアとしては音楽グループを立ち上げています。いままで BAA に興味を示さなかった友人たちが、音楽の話になると参加してくれます。興味を持ってもらえる内容を取り上げていくことも肝要なのではないかと思っています。

米本) BAA における LDA の役割が見えづらい。LDA のつながりはわかるのですが。

個人会員へ提供できるものは何かを考えて、関西支部では独自にいろいろなセミナーや街歩きのようなイベントを進めています。

山田) 私はいろんな LDA 分科会やイベント、セミナーに参加していますがまだ LDA として何をすればよいのかわかりません。今後の課題です。

米本) いや山田さんや荒武さんのように得意な分野をお持ちの方は、若い人を巻き込んで頂ければ B A A の価値が高まると思います。

山田) 巻き込むという感じはよくわかります。B A A という名前だけでは理解されない。

木村) 美容関係の団体とかと勘違いされますよね (大笑)

LDA だけでなく個人会員も含めて誰に発信していくかが重要ですね。

本岩) 若い人は健康にも関心があります。太極拳もオンラインで工夫してできませんか?

山田) 太極拳でも呼吸法などは工夫次第では可能です。太極拳以外にもヨガ講座なども考えられます。

木村) 色々なコンテンツを B A A で登録して入門編などとしてオンラインで配信するのがよいかもしれません。

本岩) オンラインとリアルコンテンツの一覧があるとよいですね。

木村) 色々な知識を持った専門家がいて広く、深く突っ込んでいくことができる。

かつては LDA をとると修了証とともに登録カード証を授与された時代もありました。今はありませんのでこうした登録カードや名刺などでももらえると励みになるかもしれません。

米本) データベースで個人を登録しておくとういと思っています。

木村) BAA は、個人が人生をどのようにプランニングするか、そしてどのように実践するかを支援しています。これからはますます、法人会員、LDA 会員、個人会員の連携が重要になってきます。企業にとっては社員教育、採用、転職、人材活用などが、個人にとっては自律的ライフプランニングや活動の場作りなどが求められています。例えば、企業内に LDA 有資格者を増やす取り組み、キャリアコンサルタントの資格をもった LDA が企業に赴いて相談に乗るということも考えられますね。

米本) キャリアコンサルタントとして赴く場合は、ボランティアではなく有料で考えることになります。

本岩) 現在、中小企業は人材不足で困っています。採用が難しいため、離職者を出さないようにすることが大事になっています。そこで企業内に LDA をおくとそれらの対策に効果があると働きかけたらどうでしょうか？提案書を作りましょう！

木村) 企業内に LDA をおくとそこがハブになって会員が増える可能性がありますね。

社員の定着を図るだけでなく LDA には採用に強い人もいます。採用に関する研修プログラムも必要かもしれませんね。

本岩) 社員にキャリアコンサルタントの資格を取らそうとするとお金も時間もかかる。

LDA はコストパフォーマンスが良い (笑)

木村) 皆さんの貴重なご意見を聞いて感じたことですが、中小企業にも LDA をおいて採用、離職予防に対して頑張ってもらうことに大きな可能性を感じました。

私もぜひお手伝いさせていただきます。

本日はお忙しいところご参加いただき有難うございました。

BAA セミナー実績の概要

1. エクステンションセミナー (過去 5 年間の開催実績)

エクステンションセミナーは、ライフデザイン・アドバイザー (LDA) 資格保有者の継続研修の場として開催しています。

2018 年度の実績

開催日	講師 (敬称略)	タイトル
4 月 9 日	横山 出	「 60 歳からモチベーションをもって働く 」 ～研修、相談での伝え方を考える～
5 月 14 日	金澤 征子	「 組織 内の精神弱者への対応」 ～心理 カウンセンリングの現場から～
7 月 9 日	干場 進	こころの弾力性増進と行動の活性化～行動科学の先端理論 「ACT」が切り開く能力開発の新しい世界～
8 月 27 日	高伊 茂	今から備える・60 歳以降を幸せにする仕事とお金の話
9 月 10 日	田中 和美	コミュニケーションを円滑にする「TA トランプ」

10月16日	木村 勝	ビジネスパーソン/キャリアの4つの選択肢
11月12日	干場 進	変化と変革を起こす質
1月28日	浅見 大輔	職場における人権問題を考える
2月18日	池上 義雄	「NLPを学ぶ」
3月25日	板谷 和代	「伝えた!・・・伝わった?」 楽しく学ぶ「伝わる力」向上講座

2019年度の実績

開催日	講師 (敬称略)	タイトル
4月8日	金澤 征子	メンタル不全者への対応～心理カウンセラーからの提言～
5月13日	横山 出	ライフキャリアを語ろう
6月10日	西川 由喜	「厄介な老人」はいらない
7月8日	甲斐 幸一郎	ジョブカードを使ったキャリアコンサルティングの勧め
9月9日	横山 出	センテナリアン時代のライフキャリア戦略
10月30日	木村 勝	知らないと後悔する定年後の働き方
12月9日	谷岡 賢一	人はなぜ不合理な行動をしてしまうのか
2月12日	富田 幸枝	成功のためのパフォーマンス心理学
3月9日	板谷 和代	自分特製の「ドレッシング」をつくりましょう

2020年度の実績

開催日	講師 (敬称略)	タイトル
1月23日	小田林 皇江	人生を豊かにするアンガーマネジメント

※2020年度は新型コロナウイルスの影響を受け開催することができなかった。

【オンライン (ZOOM) 開催となった】

2021年度の実績

開催日	講師 (敬称略)	タイトル
4月3日	下平 久美子	組織活性化のための交流分析
5月15日	木村 勝	100年時代のライフキャリアを考える
9月11日	廣川 進	コロナ禍におけるメンタルヘルス ～職場のコミュニケーション～
11月20日	櫻井 香織	アンコンシャスバイアスに気づきライフキャリアデザインに活かす
1月8日	若月 誠	ライフシフトの備える学び直し・学び加え

3月12日	板谷 和代	自分らしさとキャリアデザイン ～思い込みからの解放。そして一步前へ～
-------	-------	---------------------------------------

※2021年度は新型コロナウイルスの影響を受けオンライン（ZOOM）開催となった

2022年度の実績

開催日	講師（敬称略）	タイトル
4月16日	横山 出	人生100年時代働き、学び続ける ～新しい時代にしなやかに生きる～
5月14日	奥村 彰太郎	70歳まで働くことが当たり前の時代に
9月17日	金澤 征子	コロナ禍のストレス理解と対応、ウクライナ戦争の影響も踏まえて ～メンタルヘルスのために苦しい日々の勇気づけの言葉～
12月10日	得丸 英司	ここはどこ？ 私はだれ？ ～「自走人生」への旅たち～
3月18日	木村 勝	「会社を辞めたい」はチャンス～「辞めたいマインド」をセカンドキャリアに結びつける

※2022年度は新型コロナウイルスの影響を受けオンライン（ZOOM）開催となった

2. 三鷹ネットワーク大学講座（過去5年間の開催実績）

三鷹ネットワーク大学講座は、社会貢献事業の一環として、毎月1回シニア層を対象に人生100時代に必要な情報提供を目的に開催しています。

2018年度の実績

開催日	講師（敬称略）	タイトル
4月18日	浦田 健一郎	公的年金を知り、人口減少時代を乗り切る
5月9日	大庭 和夫	安心の老後には今からの準備が必要 ～思い立ったら始めよう大切な家族へのメッセージ～
6月20日	木村 勝	キャリアの折り返し40歳から考える自律的キャリア育成術
7月18日	倉林 孝明	地域でユル～イ関係の居場所をつくり、楽しもう！ ～ほどほどの社会参画、地域活動そして話し合い～
8月22日	池上 義雄	お互い満足するコミュニケーションとは ～相手を理解するために～（前期）
9月19日	池上 義雄	お互い満足するコミュニケーションとは ～相手を理解するために～（後期）
10月17日	横山 出	上司としてのコミュニケーション力の向上 ～褒められて育てられたい若者世代に自律を促す～

11月21日	浦田 健一郎	わが国の財政健全化はなぜ必要なのか ～人口減少時代の財政と金融政策の在り方を考える～
12月19日	大庭 和夫	老後資金を脅かす新手の詐欺急増中！！ ～ 実例をとおして防衛対策を考えよう！～
1月19日	池上 義雄	退職金と企業年金の得する受取り方 ～確定拠出年金と確定給付年金～
2月20日	小池 正一郎	投資上手を目指す3カ月勉強法を教えます ～「三つの目」と「三つのI（アイ）」でお金が流れる「高いところ」を探す～
3月20日	山田 和美	健康寿命を伸ばすため簡単にできる基礎知識を教えます

2019年度の実績

開催日	講師（敬称略）	タイトル
4月18日	浦田 健一郎	不確実な時代の個人投資家に必要な投資方針とは ～資産を増やしたいならリスクとコストを最小に～
5月15日	大庭 和夫	空き家対策と相続 ～ファイナンシャル・プランナーと考える活用方法～
6月19日	横山 出	夫婦のコミュニケーション ～どうしたらよい関係になることができるのでしょうか～
7月19日	天野 富夫	幸福度を上げたい人のために ～幸福は目指すのではなく、日々の活動からおのずと得られる～
8月21日	金澤 征子	シニア世代の親と子の人間関係のあり方を考える
9月20日	木村 勝	人生100時代「将来を見据えた働き方を考える ～働けるうちは働きたい人のためのキャリアデザイン術～
10月23日	浦田 健一郎	不確実な社会を生き抜くために必要な人間力とは ～自立した人間として力強く生きていくための総合力を考える～
11月20日	荒武 誠	正しい資産運用の手順を学ぼう ～ファイナンシャル・プランナーと考える基礎知識と留意点～
12月20日	池上 義雄	民法（相続法）改正！相続の変化と対応策を考える
1月22日	倉林 孝明	人生第二章、ユル～イ地域の居場所から！ ～語り合い、そしてほどほどの地域活動～
2月19日	谷田 恵子	シニアの「インターネット」の正しい使い方を学ぶ
3月19日	小池 正一郎	混迷が予想される国際金融市場の読み方と投資の考え方

2020 年度の実績

開催日	講師（敬称略）	タイトル
7月15日	大庭 和夫	相続法改正最終章 ～法務局における遺言書の保管制度～
8月26日	荒武 誠	資産運用の基礎—税制優遇制度の賢い活用術 ～資産形成の基本と老後の取り崩し方を解説～
9月16日	池上 義雄	シニアのライフプランを考える ～人生を楽しくしていきましょう～
10月21日	山田 和美	WITHコロナの過ごし方 ～未来を拓く！新しい暮らしのデザイン～
11月18日	浦田 健一郎	公的年金の財政を正しく読み解く
12月16日	横山 出	ちょっとだけうまくなる ～シニアの家族や初対面の場で～
1月20日	倉林 孝明	地域にユル～イ居場所を作りませんか！ ～仲間作りや、やりたいことを考える～
2月17日	木村 勝	働けるうちは働きたい人のために必要なこと ～人生 100 年・80 歳現役時代を生き抜くためのキャリアデザイン術～
3月17日	奥田 健一	シニア世代の資産形成 ～独立系 FP が実践体験に基づきシニア世代の資産形成を提案～

※2020 年度は新型コロナウイルスの影響を受け 4 月から 6 月まで開催することができなかった。

2021 年度の実績

開催日	講師（敬称略）	タイトル
4月21日	荒武 誠	「人生 100 時代の賢い資産形成術」①基礎編 ～資産運用の基礎知識、正しい手順について～
5月19日	荒武 誠	「人生 100 時代の賢い資産形成術」②応用編 ～資産配分と税制優遇制の活用について～
6月16日	池上 義雄	思いを反映したプラス思考のコミュニケーション ～夫婦あるいは親しい人とより親密な関係に向けて～（前期）
7月14日	池上 義雄	思いを反映したプラス思考のコミュニケーション ～夫婦あるいは親しい人とより親密な関係に向けて～（後期）
8月25日	埴 猛	認知症になっても困らないために（第 1 回） ～認知症者や介護者が楽になるコミュニケーションとは～

9月15日	埴 猛	認知症になっても困らないために（第2回） ～共生社会の制度やサポートを上手に利用する～
10月20日	荒武 誠	資産形成の王道、企業型 DC&iDeCo の賢い活用法～年金制度改正法施行による利用機会の拡大を中心に解説～
11月17日	大庭 和夫	資産の承継対策としての民事信託の活用 ～遺言と信託の違いについて考える～
12月15日	横山 出	ニューノーマル時代の関係構築 ～新しい時代に“自分が変わる”ことを考える～
1月19日	倉林 孝明	コロナ禍、対面とオンラインで 自分の居場所をつくりませんか！ ～地域の仲間作りと、自分のやりたいことを考える～
2月16日	木村 勝	「ミドルシニアのためのライフシフト戦略」 ～人生100年・現役80歳時代を生き抜くためのキャリアデザイン術～
3月16日	奥田 健一	すべての年代の方に実践していただきたい資産形成の方法 ～ タイミングにとらわれない超長期のつみたて投資～

2022年度の実績

開催日	講師（敬称略）	タイトル
4月20日	荒武 誠	人生 100 時代の賢い資産形成術 ～資産運用の基礎知識と正しい手順について～
5月18日	天野 富夫	幸福度を上げるためのキャリアプラン ～日々の活動に幸福度を上げるヒントは隠されています～
6月5日	池上 義雄	シニアのコミュニケーションの取り方 ～配偶者・パートナーとのより充実した生活に向けて～
7月20日	大庭 和夫	知っておきたい相続の基礎知識と「遺言」の書き方
8月17日	浦田 健一郎	わが国の財政は破綻しないか？ ～財政均衡理論および現代貨幣理論から考える～
9月21日	谷田 恵子	シニアのインターネットリテラシーを考える ～インターネットトラブルに巻き込まれないために～
10月19日	埴 猛	認知症になっても困らないために ～認知症者の見ている世界とは～
11月16日	荒武 誠	人生 100 年時代の賢い資産形成術 ～税制優遇制度の活用法～

12月21日	今辻 俊郎	生涯現役時代 ～自律的キャリアの形成と持続的社会の構築を目指して～
1月18日	福富 洋一郎	地域活動の勧め ～あなたの地域活動の現状と未来～
2月15日	木村 勝	80歳現役時代におけるミドルシニアのための自律的キャリアデザイン術 ～副業・兼業時代の新しい働き方へのライフシフトを実現する～
3月15日	小池 正一郎	日米欧金融市場の逆回転を見据えた投資戦略を考える

3. シニアセミナー実績（過去5年間の開催実績）

シニアセミナーは、ライフデザイン・アドバイザー（LDA）資格保有者の活躍の場として、幅広いテーマでシニアの方が必要とする情報提供を目的に開催しています。

2018年度の実績

開催日	講師（敬称略）	タイトル
10月25日	浦田 健一郎	人生 100 年時代のビューティフルエイジングを考える
11月22日	大庭 和夫	安心の老後には今からの準備が必要 (終活のすすめ)
12月27日	中山 明俊	自然放置の健康論実 は人間は病気しないようにできている
1月24日	倉林 孝明	地域活動に参加するために必要なこと
2月28日	奥村 彰太郎	老後生活で知っておきたい「お金の知識」
3月28日	池上 義雄	思いを反映したプラス指向のコミュニケーションのコツ

2019年度の実績

開催日	講師（敬称略）	タイトル
6月3日	池上 義雄	遺言を作ってみませんか！
7月1日	近藤 テ留ミ	占星術のレンズを通して社会情勢を展望
8月5日	浦田 健一郎	個人投資家のためのやさしい投資術を教えます
9月2日	濱田 俊一	私のビューティフルエイジング「ジャズ」をより楽しむために！
10月7日	木村 勝	消えゆく昭和の風景／東京オリンピックを前にして
11月5日	埴 猛	認知症で困らないために

2020年度の実績

開催日	講師（敬称略）	タイトル
9月7日	天野 富夫	幸福度を上げたい人のために
10月5日	濱田 俊一	音楽で人生を豊かに！！

11月2日	埴 猛	認知症で困らないために2
12月7日	荒武 誠	国際証券投資の進め方
1月18日	浦田 健一郎	公的年金の持続性を読み解く
2月8日	埴 猛	認知症で困らないために2 (オンライン開催)
3月1日	九鬼 眞弓	健康寿命を延ばすには

2021年度の実績

開催日	講師 (敬称略)	タイトル
5月12日	九鬼 眞弓	ZOOM機能の易しい使い方
7月14日	濱田 俊一	音楽で人生を豊かに
9月8日	荒武 誠	現在の日米株価水準はバブルか ~株価急騰・急落時、個人投資家の対処法へのヒント~
11月10日	近藤 テ留ミ	心の宇宙を拓けるー曼荼羅の見方・楽しみ方ー
1月12日	浦田 健一郎	わが国の財政は破綻しない？ ~現代貨幣理論 (MMT) とは何か~
3月9日	中山 明俊	認知症対策として民事信託の活用を考える ~家族信託の仕組みとは~

2022年度の実績

開催日	講師 (敬称略)	タイトル
4月13日	池上 義雄	時刻表での机上の旅 ~思いのままに旅を楽しむ!~
5月11日	森 邦夫	英雄たちのライフデザイン・キャリアデザイン ~こういう生き方は如何ですか~
6月8日	朴 紘慶	かしこく年齢を積み重ねる秘訣 ~生涯現役のための習慣と万が一に備える医療同意~
7月13日	木村 勝	写真で楽しむ昭和の町歩き
8月10日	濱田 俊一	ジャズの魅力を歴史とともに! ~ミニコンサート付~
9月14日	近藤 テ留ミ	今、そしてこれからの世の中をクロノクレーターで占う
10月12日	石橋 美紀	世界遺産って何だろう ~世界遺産誕生ドラマと発見秘話~
11月9日	五木田 雅彦	外国語習得法を考える ~これからは AI で外国語は勉強不要?~
12月14日	榊原 敏秀	昭和の名曲に魅せられて...

		～思い出の歌・懐かしの歌～ 総特集～
1月11日	松倉 壯典	シニアのライフデザイン ～豊かな暮らし応援の実践事例から～
2月8日	本岩 美香	Google フォームの始め方 ～Google フォームを便利に使おう～
3月8日	春田 信義	やさしい経済教室 ～2022年度の振り返りと2023年度の展望～

4. 講演会・シンポジウム・特別講座 他 (2017年～2022年)

年	区分	講師	タイトル
2017	関西セミナー	奥村彰太郎	豊かな人生のためのキャリア&マネープラン
2017	創立25周年シンポジウム	基調講演 宮城まり子	自律的キャリア開発と人材育成 ～個人の成長は企業の成長～
2018	プロフェッショナルセミナー	下平久美子	TA (交流分析) コミュニケーション心理学の活用
2018	関西セミナー	宮城まり子	自律的キャリア開発と人材育成 ～個人の成長は企業の成長～
2018	ライフキャリア特別講座	宮城まり子	実践キャリアカウンセリング、事例検討
2018	ライフキャリア特別講座	宮城まり子	ロールプレイ・実践キャリアカウンセリング
2018	シンポジウム	基調講演 宮城まり子	企業における人材育成とキャリア支援
2019	関西セミナー	西川 由喜	自分がわかれば相手わかる！ 交流分析心理学
2019	シンポジウム	基調講演 木村 勝	シニア人材の雇用と活性化 基調講演 今なぜ自律的なキャリアデザインが必要なのか
2020	講演会	下平久美子	距離は離れても心は繋げよう！
2021	関西セミナー	山下 弓	これからのセカンドキャリアを考える
2021	講演会	埴 晴雄	生活習慣病 静かなる殺し屋
2022	関西セミナー	金城真知子	変化するライフステージに合わせた幸せなパートナーシップ
2022	創立30周年記念講演会	澤岡 詩野	わたしらしく生きるために 今できること

最近のBAA活動紹介（写真）

＜養成講座・講演会・シンポジウム・セミナー＞



LDA 養成講座ワークスタディの様様



BAA 基調講演（上）とシンポジウム（下）



エクステンションセミナー



三鷹ネットワーク大学寄付講座



シニアセミナー（ジャズの歴史と生演奏）



BAA シンポジウム・関西



関西セミナー

<行事・交流事業>



2020年新年会



第90回囲碁大会



← 観劇会

大相撲観戦会 ↑



気軽な4水会



ゴルフコンペ



尾瀬ハイキング



講師との懇親会もあるお話の会



ぶらり街歩き(二重橋と明治神宮)



← 熱唱中のカラオケ会





関西イベント（法人会員見学会）



関西イベント（酒蔵見学会）

編 集 後 記

一般社団法人ビューティフルエイジング協会は昨年8月に30周年を迎えることができました。これは、ひとえに会員の皆様、ご協力者の皆様によるものと、心から深く感謝申し上げます。昨年の総会で、30周年を記念してBAAの活動を振り返り、これからの活動を考える機会にしよう、と、記念誌の発行が決められました。昨年7月から、記念誌編集委員会を立上げ準備を続けてまいりました。企画から掲載する記事の内容を確定するため、いざ取り組んでみると30年の歴史はなかなか重たいものでした。活躍された諸先輩の皆様やご支援者からのエール投稿をお願いしましたが、紙面の制約から総ての方にはお願いできないのは残念でした。また、創立時の歴史も膨大なもので限られたものになりました。その中で座談会「BAAの更なる発展のために」は、活動を支えていただいている各世代のライフデザイン・アドバイザーの方々に参加いただき、これからの30年BAAはいかにあるべきか、本音で語っていただきました。そのなかで強く感じたことは、社会環境の変化でした。ビューティフルエイジング実現という理念は変わらないものの、活動そのものは大きく変化したことを痛感しました。人生100年時代と多様な価値観のなかで、学び、働き、生きることの大切さを再認識させられました。この記念誌が皆様のビューティフルエイジング実践に、お役に立てると幸いです。

30周年記念誌編集委員会

委員長 濱田 俊一

副委員長 木村 勝

副委員長 大庭 和夫

委員 寺門 隆夫

委員 伊藤 孝夫

委員 山田 清美

顧問 浦田 健一郎

発行責任者：BAA 専務理事 埜 猛